

ななお 市議会だより

No.18 平成21年第1回(3月)定例会●発行/平成21年5月1日●七尾市議会事務局●編集/議会だより編集委員会

副市長選任同意案を同意

祝 中島保育園 開園式

— 入園の集い —



中島保育園開園式

本定例会で同意された人事案件

◎副市長

【鵜浦町】

不嶋 豊和 氏(59歳)

◎人権擁護委員

【中島町上畠】

福田 安史 氏(56歳)

平成21年第1回市議会定例会の概要

3月2日(月) 本会議

平成21年第1回定例会が招集され、会期を23日間と決めました。平成21年度一般会計予算として286億7千万円及び13の特別会計と企業会計の他、補正予算案と条例案を含め議案50件、損害賠償額の決定の専決処分の報告1件が上程され、提案理由説明が行われました。

3月6日(金) 本会議 3月9日(月) 本会議

3月10日(火) 本会議

3日間にわたり、代表質問及び一般質問に19名の議員が質問に立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な論議が交わされました。

3月18日(水) 常任委員会

3月19日(木) 本会議・常任委員会

3つの常任委員会において、付託された議案について委員会審査が行われました。19日においては、常任委員会に先立ち本会議が開催され、副市長の選任同意案が同意されました。

3月24日(火) 本会議

各常任委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され、採決を行った結果、請願1件と継続請願2件が継続審査となりましたが、それ以外の議案及び請願については全て可決及び採択されました。その後、追加議案4件と追加同意案1件の提案理由説明が行われ、委員会審査を経て採決をした結果、全て可決及び同意されました。また、意見書に関する議会議案3件が提出され、全てが可決された後、市議会定例会を閉会しました。

時代に即応した行政組織・機構の見直し

● 瀧野弘信議員

Q 新たな行政課題並びに社会情勢の変化に対応するため、来年度にどのような組織機構の見直しを行うのか伺います。

● 市長

A 行財政改革プランにおいて組織の合理化、組織化が掲げられており、それに従って3つの方針で見直しを実施しているところです。業務の簡素、効率、減量化が図られる体制の整備、市民の多様なニーズや業務の繁閑に柔軟に対応できる体制の整備、行財政改革を着実に推進するための体制整備です。新年度の具体的な見直しですが、35あった課を30にしていきたいと考えています。そして、重点施策を推進するための体制整備として、課内室である人口減少対策室、地域づくり協働推進室、農商工連携室、工事検査室を新たに設けました。また、柔軟に対応できる体制を目的としたグループ制の試行を拡大し、これまでの4課12グループを11課27グループにすることになっています。

その他の質問項目

- 重要港湾七尾港の水産基地化
- 和倉まちづくり事業
- ケーブルテレビ事業



地下水採取問題における田鶴浜地区・高階地区への影響と対策

● 荒川一義議員

Q 田鶴浜地区の地下水採取問題について、調査結果から見えてきたものは何か、また、それに対して具体的にどのような対応や対策をとっていくのかを伺います。

● 市長

A 高階地区は年間約600万トンの地下水の流動量があり、現在約260万トンが揚水されています。また、高田地区は138万トンの地下水流動量があり、現在78万トンが揚水されています。そういって、高階地区と高田地区は水の層は違うけれども、ある意味で同一の地下水層だと捉えてよいのではないかとという結果をいただいています。これからの対応については、地下水の収支をきちんと把握するような観測をしていく必要があるという提言もいただいております。地下水の適正揚水量に関する規制についての条例制定も考えていかなければならないと考えています。

その他の質問項目

- 産業政策と経済再生の戦略
- 雇用情勢と取り組み、生活保護申請者の対応
- 定額給付金の給付と経済効果
- 定住自立圏構想と取り組み
- ゲリラ大雪から見えた七尾市雪害対策計画の課題と対策
- 教育のあり方や方向性と取り組み

涛南・北嶺地区における学校再編問題

● 大林吉正議員

Q 学校再編問題は、地域の同意が絶対的に必要だと思われれます。孫や子どもを心配しない親はいないのですから、まず相談する相手は各町会だと思われれますし、保護者の意見も各町会の全体意見として考えるべきだと思いますが、今後どのような方針で進めるか伺います。

● 教育部長

A 涛南及び北嶺校区については、東部中学校との統合を計画しており、昨年12月17日、明けて1月15日に第1回目の説明会を開催したところです。あくまでも子ども達の立場に立った再編計画としなければならぬという観点から、当事者である保護者の意見や意向を最優先とすべきではないかということで進めてきました。第2回目は、2月18日、19日に開催し、町会長のみならず、地域の方々にも参加したいという思いから、町会長に案内をさせていただいたところです。地域の皆さまにおかれては、教育委員会が保護者、地域のどちらを優先したかではなく、地域の子どものよりよい教育環境充実のため理解をお願いしたいと思っています。今後の進め方ですが、要請があればいつでも何度でも出向き粘り強く説明していきたいと思っています。

その他の質問項目

- 世界における経済不況による市の企業の派遣社員や期間従業員の現状

入札問題

●中西廉介議員

Q 最低制限価格の公表は、発注者である七尾市が価格を指定しているようなものと言っても過言ではなく、入札の本旨から著しく逸脱した行為と言わざるを得ません。最低制限価格の公表は取りやめるべきと考えますし、予定価格の公表の是非も考えるべきだと思いますが、いかがが伺います。

●市長

A 最近の入札は、最低制限価格が落札価格になっていく状況の中、職員が最低制限価格を漏らしているのではないかとという声から、市としては入札制度による公平性と透明性を確保するためにも、最低制限価格を公表したわけです。これはあくまでも試行段階で、問題等があれば、よりよい方向で検討しなければならぬと思っていますが、公表制度と工事能力や積算能力とは直接関係ないと思っています。いずれにしても、入札制度の透明性、公平性を守っていくことが行政、あるいは発注者としての役割だと思っています。

その他の質問項目

- 平成21年度予算編成
- 雇用促進住宅の取得
- ふるさと納税



七尾港の水産基地化により、市の活性化にどう取り組むのか

●石川邦彦議員

Q 七尾港の水産基地化にあわせ、加工業者等の企業誘致を強力に推進することが、本来の目的である市の雇用拡大、そして市全体の活性化につながり、市場の活性化にもつながると思いますが、いかがが伺います。

●市長

A 能登半島沖に操業し、七尾港で水揚げできれば、七尾にとっても魚を取り扱う業者や関連企業等にとっても、大変大きな効果が期待できるので、積極的に進めていこうと取り組んでいます。現在、矢田新埠頭で水揚げをしております。課題がありますが、とりあえずは上屋を確保しなければならぬと考え、関係団体と調整を行っているところです。魚を利用する加工業者、関連業者の誘致も当然視野に入れていかななくてはならないわけですが、七尾港の水揚げ、荷役の関係の環境を整備しないと企業に来ていただくことも見通しが立ちません。いずれにしても、水産加工団地を七尾港周辺につくっていく中で、七尾の活性化、港湾の利活用のために全力で取り組みたいと考えており、とりわけ能越自動車道が供用開始になれば、中京圏、東京圏も非常にアクセスがよくなるので、七尾が生き残る大事な事業として続けていきたいと思っています。

その他の質問項目

- 七尾港の水産基地化への進捗状況

能越自動車道(仮称)七尾東インターチェンジの名称変更の考え方

●高僧弘議員

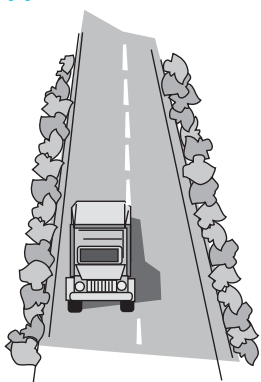
Q 七尾、能登の魅力を全国に発信するよい機会であり、日本名城100選の七尾城を世に広める絶好の機会ですので、国土交通省を初め関係機関に働きかけ、能越自動車道(仮称)七尾東インターをぜひとも七尾城址インターとしていただきたいと思いますが、いかがが伺います。

●市長

A 七尾を全国に発信し、その名前を通じて波及効果を期待するわけなので、地元の方さんの思いは大変ありがたく、重く受けています。ただ、市としては、名称について決定する、あるいはそれなりの力があるという状況ではありません。国がつくると同時に国が管理をする道路なので、基本的には国が名称を決めることとなります。実現性については何とも言えない状況なので、国に対して強く要望していきたいと思っています。

その他の質問項目

- 小中学校の校舎
- 地上デジタル放送完全移行への周知計画



公立・私立保育園の耐震診断

●池岡一彦議員

Q

今後、保育園の耐震診断をした結果、耐震基準がクリアできていなければ、耐震化工事の必要性が出てきますが、耐震化に対する私立保育園への補強、修理についての補助はどのように考えているのか伺います。

●健康福祉部長

A

私立保育園の大規模修繕等の経費に対しては、国の次世代育成支援対策交付金を財源にして、市からの補助を実施してきましたところです。このたびの国の第2次補正予算に伴い、各都道府県では新たに安心子ども基金が創設され、平成22年度までは、この基金を財源とする保育所緊急整備事業として耐震工事を実施していくこととなっています。また、平成23年度以降の実施分については、国の制度の動向を見ながら支援を継続していきたいと考えています。なお、安心子ども基金を活用する事業費の負担割合は、子ども基金が2分の1、市が4分の1、法人が4分の1となる予定です。

その他の質問項目

- アドバイザー事業
- 結婚相談員報奨金



スポーツ施設の整備と管理担当課の変更

●久保吉彦議員

Q

希望の丘公園のテニスコートは、大会ができるような状態ではないので、改修、整備が必要だと思いますし、今後改修するのであれば、クレーコートではなく、オムニコートにしてもらいたいものです。また、このテニスコートだけは所管が違いため管理体制がよくないので、所管を都市整備課からスポーツ振興課へ移行してもらいたいと思いますが、いかがか伺います。

●建設部長

A

テニスコートの整備については、市の総合計画では全天候型テニスコートの整備を計画しているので、今後は関係部局と協議しながら進めていきたいと考えています。管理については、市内の各スポーツを一体的に管理していくことで、手続の簡略化や情報の収集など利用者のニーズに対応し、利用者数の拡大も期待できることから、スポーツ施設を所管しているスポーツ振興課に管理を一元化する方向で協議してまいります。

その他の質問項目

- 七尾港の利用促進



大型養鶏場建設

●垣内武司議員

Q

大型養鶏場を市に設置した場合、約170名の雇用、市の財源を含めた市全体の利益になるのか、ならないのか伺います。

●産業部長

A

大変厳しい経済状況の中で、大型養鶏場建設に伴い、雇用も約150人生まれること、固定資産税及び地元雇用の市民税の増加が見込まれること、卵を使用する関連企業の誘致が望まれること、また、大規模な投資計画であることから、養鶏場が建設された場合、地元経済への波及効果は大きいものと考えていますが、養鶏場の建設については、地元合意が大前提です。



七尾市の財政運営のあり方

●岡部俊行議員

Q

市の目標に掲げている人口減少下における持続可能なまちづくりを進めていくために、今後の財政運営をどのように考えているのか伺います。

●市長

A

平成21年4月1日から、地方公共団体財政健全化法が全面的に施行されるので、一般会計のみならず、公営企業等の特別会計及び地方の公社や第3セクターの状況などを踏まえて、総合的な財政健全化に取り組まなければなりません。今後、国が示す地方財政計画は、まだまだ不透明な部分がありますが、地方交付税の動向を見据えながら、財政調整基金を取り崩さず、現在の残高を確保するように努めていきたいと考えています。また、市民サービスの低下を招かないように、行財政改革大綱の改正、平成22年度からの行財政改革プランの策定に向けて、取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問項目

○自治体の予算の機能



観光圏構想

●木下敬夫議員

Q

宝達志水町以北4市5町が能登地域における観光圏推進協議会を設立して、各市町が誘客支援策を広域的に展開していくことですが、能登地域4市5町における観光圏構想とは、具体的にイメージをどう描いていくのか伺います。

●市長

A

能登半島観光圏という形で構想を立てながら、国に対して認定申請を出したところです。目指す方向は、泊まるだけの楽しみから、まちへ出て別の楽しみをしていただく仕掛けをどうするかということ、もう一つは、日帰りから宿泊、1泊から2泊というように、より滞在型にしていたくような仕掛けづくりをすること、また、リピーターとして観光地へ行っていただけるような仕掛けづくりを目指しているところと取り組んでいるところです。能登の大きな売りとして温泉、豊かな自然、食、祭り、歴史、文化等があるわけですが、こういったものとの交流体験等を充実させながら、宿泊をさらにしていただくような取り組み、さらには二次交通の連携をさせながら、誘客促進を図っていくことについてもです。

その他の質問項目

○地域経済再生プラン ○市発注工事入札の最低制限価格公表 ○市職員の天引き

統合中学校

●杉森克夫議員

Q

合併協議会での合意事項では、能登島、中島、田鶴浜の各中学校を統合しての統合中学校建設だたにもかかわらず、旧鹿北3町の地域審議会の承認を得ずに、中学校の再編計画が進んでいます。この点についての考えを伺います。

●教育長

A

新市建設計画の変更にあたっては、県知事と協議した上で議会の議決が必要です。今回、県知事への事前協議をするにあたり住民同意が必要ということから、地域審議会に計画の変更について諮問をさせていただきました。各地域審議会では我々が進めている保護者説明会や地域説明会での反応、動向を見て方針を決定していくということで、3つの地域審議会とも継続審議となっています。教育委員会としては、今後も保護者や地域の方々とは粘り強く何度も話し合いの場を設けるなどして、現在進めている再編案に対し、例えば田鶴浜と中島の統合中学校の建設場所は別としても、計画全体としての理解と協力をいただくということで、地域審議会において変更の承認を決定していただけるよう努めていきたいと考えています。

その他の質問項目

○のと鉄道の存続

七尾城本丸を中心とした国史跡の公有化

●古田秀雄議員

Q

七尾城跡は、本丸を含む中心部分、約9・8haが民有地のままです。畠山創立600年にあたる記念すべきこの年に、文化庁に働きかけて公有化に踏み切れることは、市民にとっても念願がかなった喜びに浸れ、所有者にとっても名誉だと喜ばれると考えますが、市としてどのように考えているか伺います。

●市長

A

能登畠山家創立600年という記念すべき年、そしてNHK大河ドラマにも放映されるという中で、七尾城跡への来場者が増えています。加えて、東海北陸自動車道の開通や今後の能越自動車道の開通を視野に入れると、交流人口拡大の歴史資産として生かすための七尾城跡の整備は大変重要だと認識しています。七尾城跡は史跡指定を受けてから、ほとんど大掛かりな調査がされていない状況ですが、公有化をしなければなかなか調査が進まないわけなので、公有化するためには国庫補助金をいただき一旦も早く整備が進むようにしていかなければならないと思っています。

その他の質問項目

- 雇用の機会創出と人材育成
- 七尾港の機能充実と利用促進
- 地球温暖化対策
- 公共下水道七尾処理区事業の今後の取り組み
- 教職員の労働安全衛生体制の確立

介護保険

●議員和典議員

Q

高齢者の老後の生活不安をなくし、安心して介護サービスを受けるためにも、介護保険料を原則として支払い能力に応じた負担とするよう、所得段階を現行の6段階から8段階ないし10段階にし、低所得者の負担軽減をすると同時に、減免制度を実施する考えがあるか伺います。

●市長

A

国は6段階を標準とし、市町村の判断で多段階制を設けることができることになっていますが、試算をしたところ、低所得者の方が高所得者より多いため、基準額がより高くなり、第1段階から第3段階の本人及び世帯全員が市民税非課税の世帯の方々が結果的に高負担となるので、七尾市では第6段階での介護保険料としているところです。減免制度の実施については、減免分を第1号保険料で賄わなければならない、さらに基準額の上昇につながるようになるので、現在は考えていません。

その他の質問項目

- 雇用問題
- 国民健康保険
- 子どもの医療費
- 生活福祉資金
- 生活保護制度
- 就学援助制度
- 小規模工事登録制度

能登和倉万葉の里マラソン

●松本精 議員

Q

能登和倉万葉の里マラソンは、市民協働につながるような一体感を持った大会であったか、もてなしの大会となったかどうか伺います。

●市長

A

市民と行政と事業者が一体となった、まさに市民協働の大きな事業であり、それぞれの皆さんが素晴らしい達成感、充実感を得ていたのではないかと思います。また、大会を通じて、地元の方々に地域の問題にも取り組んでいただいたり、沿線の方々には道路をきれいにしていただいたり、選手に対するおもてなしもいただきました。また、和倉の観光協会、旅館協同組合、町会の皆さんにも本当に積極的にご協力いただきました。私は、まさに七尾市民が一体感を持って達成できた大会だと思っていますし、もてなしも高く評価されたと思っています。また同時に、和倉温泉の観光振興も含めて、和倉をもっと対外的にアピールしようという形で、地元の方皆さんも特にほつと石川おいであそびせ運動を連携させながら、ご協力をいただきました。そういったことも大変高く評価されたのではないかと思います。

その他の質問項目

- ケーブルテレビ事業
- 七尾市立中学校の再編整備案



人口減少問題

●杉木 勉議員

Q 当市の人口減少問題について、今後の見通しはどうか伺います。

●市長

A 当市において、限界集落は町会単位で8つあります。御祓、袖ヶ江地区に4つ、北大吞地区に4つです。準限界集落は、昨年10月末現在で110あります。今のうちに人口減少に歯止めをかけなければならぬわけですが、若い人に限界集落、中山間地へ入ってもらうのは大変難しいわけです。そういう中で、農業や林業等の一次産業の仕事をやってみようという若い人もふえているので、そういう若者をできるだけ受け入れる取り組みもしています。そして同時に、複数の集落をあわせて集落を維持していくことも考えていかなければならないと思っています。そうした場合、やはり農地を維持するための組織、集落ぐるみの組織をつくっていかねばならないのではないかと思っています。また、核になる担い手が必要なので、そういった人たちを支援する仕組みを進めていかねばならないと思っています。

その他の質問項目

- 七尾港の振興整備
- 七尾西湾地域の観光振興

※**限界集落と準限界集落**：一般的に65歳以上の人の割合が50%を超えている集落が限界集落、55歳以上の人の割合が50%を超えている集落が準限界集落とされています。

◎今議会において、審議された請願の結果は下記のとおりです。

請願番号	請願名	請願者	結果
請願第1号	能越自動車道七尾氷見道路に於ける「(仮称)七尾東インターチェンジ(IC)」を「七尾城址IC」とすることに関する請願	七尾城山を愛する会 会長 武井 忠仁	採 択
請願第2号	国に「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願書	新日本婦人の会七尾支部 支部長 西井 米子	継続審査
継続請願第1号	地籍調査の促進について	(社)石川県宅地建物取引業協会 会長 間蔵 信行	継続審査
継続請願第2号	伊勢養鶏の(仮称)北陸新農場計画に反対する請願書	鹿島台町 会長 山田 敏男	継続審査
継続請願第7号	「消費税増税に反対する意見書」の採択を求める請願書	能登民主商工会 会長 松井 昇	継続審査

◎下記の意見書が議会議案として提案されました。可決された意見書は、政府各関係機関へ提出しました。

議案番号	意見書名	採決結果
議会議案第1号	「緑の社会」への構造改革を求める意見書	可 決
議会議案第2号	障害者自立支援法の見直しを求める意見書	可 決
議会議案第3号	今後の保育制度の検討に係る意見書	可 決

お知らせ

ななお市議会だよりへの、市民の皆さんの率直なご意見・ご感想をお寄せください。

なお、議会の会議録については、市内各図書館及び能登島生涯学習総合センターに備えてあるほか、市のホームページでも閲覧できるようになっていますので、ご覧ください。

TEL(0767)53-8433
http://www.city.nanao.lg.jp

市のホームページからメール送信することもできます。

【議会の動き】

2月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 全国高速自動車道市議会協議会理事会及び定期総会(東京都)
- 9日 全員協議会、第1回市議会臨時会
- 17日 石川県市議会議長会定期総会(金沢市)
- 19日 全国市議会議長会地方行政委員会(東京都)
- 20日 全員協議会
- 27日 議会運営委員会

3月

- 2日 第1回市議会定例会開会(~24日)

4月

- 22日 北信越市議会議長会定期総会(福井市)
産業建設常任委員会行政視察(~23日)(千葉県南房総市、千葉市)